

## 学校評議員会の実施報告書

---

学校名 岐阜県立飛騨特別支援学校 高山日赤分校  
学校長 安藤 邦寿  
所在地 高山市天満町 3-41-1 電話 0577-34-3637

---

- 1 会議の名称 平成30年度 第1回学校評議員会
- 2 会議の構成 委 員 谷倉 祐二 飛騨子ども相談センター 家庭支援課長  
三木 涼子 高山赤十字病院小児科 看護師長  
三川 賢悟 高山市福祉サービス公社 支援課長  
森本 雅彦 高山日赤分校卒業生保護者  
塩谷 雅 花里まちづくり協議会 会長  
(敬称略)
- 学校職員 安藤 邦寿 校長  
北村 浩好 事務部長  
(欠席)  
駒田 美奈 教頭 (兼高等部主事)  
中井 隆 小・中学部主事
- 3 会議の目的 開かれた活力ある学校づくりを目的として、地域住民や有識者等から学校運営に関して幅広く意見を聞くために学校評議員を置き、会を開催する。
- 4 会議の開催 日 時 平成30年6月12日 (火) 10:00~11:10  
場 所 飛騨特別支援学校高山日赤分校 相談室  
出席者 学校評議員5名と学校職員3名

- 5 会議の概要  
(1) 授業参観

(2) 評議員委嘱

(3) 校長挨拶

今年度は新たに3人の方に学校評議員をお願いした。1年間よろしく申し上げます。今年度の児童生徒数は、小学部3人、中学部4人、高等部5人、合計12人の構成である。平成28年度に高等部が開設され、今年度初めて高等部卒業生を送り出す。

当校は重度の障がいがあるお子さんが多く、また準ずる教育課程の学習を行っているお子さんや医療的ケアが必要なお子さんもいる。高山赤十字病院のドクターにも指導医をお願いしている。先生のご指導、ご助言を受けながら学校運営に取り組んでいきたい。

学校評議員の方々からいろいろなご意見、ご助言をうかがいたい。今日はよろしく申し上げます。

(4) 自己紹介

(5) 学校概要の説明（教頭）

(6) 当校の教育活動に関するご感想及びご意見等

意見1： 子どもたち一人一人に目を向けた教育は素晴らしい。学校もそうであるが、子ども相談センターも18歳までが対象である。制度的には整っていないが、数年はアフターケアが必要である。

意見2： 当校卒業生の保護者の立場としては、卒業後のことが一番心配である。特に重度のお子さんの保護者の方はなおさらだと思う。安心できる環境が整うことを願う。

意見3： 分校の子どもたちにどうかかわっていけばよいか分からない部分がある。高山市の防災担当の方からも当校の児童生徒に対する支援をどうすればよいか問われたことがある。学校から要望を出してもらうとありがたい。

学 校： 当校は開校当初、病弱対象の学校として設置されている。現在は車いす利用の肢体不自由の児童生徒が多く、設備面でまだ十分でない面もある。

意見4： 卒業と同時にきめ細かな支援がとぎれてしまう。卒業後もできる限りの支援をしていきたい。卒業後のことについて早期に取り組んでいくとよいと思

う。

意見5： 初めて授業を参観させてもらったが、子どもたちの笑顔がよかった。医療的立場から合同カンファレンスなどで情報交換をしていきたい。地域社会への積極的参加はよいことだと思う。

学 校： 保護者アンケートからも、卒業後のことが気がりであるとの意見があった。卒業後のアフターケアの年数等については、法的根拠はないが各校それぞれの裁量で取り組んでいる。

現在、職業教育に特化した高等特別支援学校が県下に2校設置されている。しかし重度のお子さんについては、卒業後のことについて課題がまだたくさんある。

今回のご意見等は、学校のホームページに掲載します。ご承知おきをお願いします。今日はありがとうございました。

(7)「保護者等を対象とするアンケート」について  
追ってアンケート協力の依頼をする。

(8) その他

ア 「学習発表会」を9月29日(土)に計画している。是非ご参観願いたい。

イ 「第2回学校評議員会」を11月13日(火)の午前中に予定している。